

協 社

か

か

み

が

は

ら

つるつるひんやり

夏真っ盛りの8月2日、各務原高校・ボランティアハウス
扇の会・障がい者サロンみっばらクックのコラボ企画とし
て、お年寄りの方から小学生まで幅広い世代でにぎやかに
そうめんを食べました。(参加者の浅野 厚さん撮影)

October 2014

No.158

赤い羽根共同募金が始まります

「わたしのお福わけ」スタート

エーザイ株式会社 川島工園の社会貢献活動



サポート君

赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします

10月1日より赤い羽根共同募金運動がはじまっています。集められた募金は、県内の民間施設整備や市内の身近な地域福祉活動に使われています。皆さまからのあたたかい心を共同募金にお寄せください。あなたの募金が地域を支え、笑顔を増やします。



誰かの役に立ちたくて、募金をしたら、じぶんの町の役に立っていた。
赤い羽根は自分たちを応援する募金でもあります。

下記の日程で街頭募金を行いますのでご協力ください。(予定)

日時	会場	協力団体
11月 9日(日) 12:00~15:00	JA ぎふ各務原中央営業所	ボーイスカウト各務原第一団
11月 15日(土) 12:00~15:00	イオン各務原店	那加中校区ふれコミ隊
12月 7日(日) 10:00~15:00	市内のスーパー(那加、蘇原)	各務原市明るい社会づくり運動協議会
12月 14日(日) 10:00~15:00	市内のスーパー(鶯沼)	//



皆さま方の多大なご協力により、次の金額が会費として本会に寄せられました。

世帯会員 36,301 世帯
賛助会員 781 団体
会費総額 21,634,000 円
 (平成 26 年 9 月 24 日現在)



高齢者ふれあい交流会
(稲羽東支部)



福祉座談会(陵南支部)



ボランティアハウスあじさい
(鶯沼第二連合支部)

社会福祉協議会 会員募集にご協力いただきありがとうございます

8月からの社会福祉協議会会員募集につきましては、多くの市民の皆さまや自治会長さん・民生委員児童委員さんをはじめ班長・組長の皆さまの格別のご協力をいただき誠にありがとうございました。

集まりました会費は本会の実施する社会福祉事業や地域福祉活動等の財源として全額使わせていただきます。

皆さまの温かいご協力にお礼を申しあげるとともに、今後とも誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりには、市民の皆さまのご理解とご協力が必要です。何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

わたしの お福わけ

各務原発の「じんる温まる」
エピソードを募集します！

しあわせを実感することって、最近ありましたか？

人それぞれに感じ方は違いますが、もし少ないと思うのであれば、それはあなたのしあわせのハードルが少しだけ高いのかもしれません。ふだんの暮らしの中で感じるちょっとした『うれしい♪』や『ありがとう』『感謝』もしあわせだと思おうのです。

赤ちゃんの笑顔を見て思わず微笑んでしまうように、ちょっとしたしあわせがしあわせを呼ぶような、あなたのエピソードが誰かのころにあかりを灯し、各務原がたくさんのしあわせに包まれるとしたら、なんと素敵なことでしょう！

あなたの気持ちをカタチにすることで、福祉の輪を広げる新しいプロジェクトが『わたしの福わけ』です。

あなたのちょっとしたエピソードをお福わけしてみませんか？



お問合せ・応募先

〒504-0912 各務原市那加桜町2丁目163番地
社会福祉法人 各務原市社会福祉協議会 総務地域福祉課
電話 058-383-7610 FAX 058-382-3233
メール ofukuwake@kakamigahara-shakyo.jp
Facebook <https://www.facebook.com/ofukuwake>

テーマ

ふだんの暮らしの中でちょっと嬉しかったこと、感動した体験など（家族・友だち・先生・同僚・ご近所・ボランティアなど）短詩も、写真付きのエピソードも、手書き文も大歓迎です。1作品 800字まで。

投稿方法

ハガキ・封書・FAX・メール・Facebook（『わたしの福わけ』で検索）

掲載媒体

社協かみがはら・社協ウェブサイト・Facebook『わたしの福わけ』にて紹介。投稿をまとめ、各務原市社会福祉大会にて、わたしの福わけ大賞を決定し「わたしの福わけ本」を作成します。（平成27年度予定）

その他

応募は自作、未発表のものに限ります。作文については、題名・氏名・年齢・住所・連絡先を明記してください。

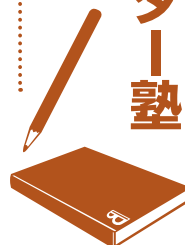
応募締切

第一次応募締切期日：

平成27年8月31日

賞：わたしの福わけ大賞／3万円
年代別優秀賞／
図書カード1万円分

支えあいサポーター塾 参加者募集！



今年で6年目となる「支えあいサポーター塾」を開催いたします。

支えあいサポーターとは、各務原市の福祉制度を学び、地域の支えあいを推進する支援者です。これまでに150名以上の方が受講され、地域でボランティア活動や小学生への福祉教育支援などをして活躍いただいています。

「何かボランティアをやりたいけど何をやっていいかわからない」といった方にオススメの講座です。ぜひお申し込みください。

日時	内容
11月7日(金) 10:00～15:00	開講式、社協とは ボランティアとは ボランティアハウスとは
11月22日(土) 10:00～15:00	地域について レクリエーション
12月11日(木) 10:00～15:00	認知症と家族の話 交流会、閉講式
11月15日(土)～ 1月末まで 4時間×2回	ボランティアハウス実習

会場 各務原市総合福祉会館

申込先 総務地域福祉課 058-383-7610

🏠 ボランティアハウス紹介 🏠

ボランティアハウスは、地域の高齢者や障がいのある人、子育て中の人などが閉じこもりにならないように集まり、楽しく交流することを目的にしています。歩いて行ける身近な公民館や集会所などに定期的に集うことで地域の支えあい、助けあいの輪が広がります。

桐野ふれあいサロン

7月に新しく立ちあがった桐野ふれあいサロン（代表：村瀬 広昭さん 那加一支部）は、桐野町ふれあいセンターで毎月第2木曜に開催されるボランティアハウスです。

ハウスでは和やかな雰囲気の中でお菓子を食べながらの会話に花が咲いていました。さらにこのハウスでは、地域の方が大活躍。今回は、地元の方が琴の演奏を披露されました。折り紙活動の際には、折り紙の先生をされていたという方が中心となり、周りの方に教えている姿が印象的でした。また、看護師の資格を持った方が何人もみえて、参加者の血圧測定も行っていました。

代表の村瀬さんは「地域の中には、資格やさまざまな知識を持っている方がい



る。そのような方々に活躍していただくことでハウスは活性化します。ここに来て、たくさんの人と交流すると普段の生活でも相談できるようになりますよ。」と話してくれました。

桐野ふれあいサロンには、地域の方が得意分野を活かして輝ける魅力もあります。ゆっくりとお話を楽しみながら地域の友達を増やしてみませんか？お近くの方はぜひお立ち寄りください。

参加者の声



- ・家にいるよりも、ここに来た方がみんながいるから心がほぐらくなる。
- ・自由に話ができる雰囲気がある。こういう場所ができてうれしいです。

みなみっこ

みなみっこ（代表：勝野^{あけみ} 暁美さん）は鵜沼南町会館で毎月第4火曜に開催される親子サロンです。鵜沼地区にチラシをお配りしていますが、皆さんが誘いあってさまざまな地域より親子が参加されています。

8月26日、鵜沼南町会館では子どもたちの元気な声が聞こえてきました。この日は水遊びをしてたくさんの親子が交流を深めました。トレイに魚の絵を描いて浮かべるとプールはまるで海のようにです。その中でシャボン玉や水鉄砲を両手に元気いっぱい遊びました。

ボランティアの方は「子育て中は悩むことがたくさんあります。そんな時に閉じこもりがちになるとノイローゼになった



り、ニュースでもあるような虐待といった可能性も出てきます。悩み相談や同世代との交流を通して悩みを打ち明ける等親子サロンがお母さんたちの外に出かけるきっかけになればと思います。」と話してくれました。

この日も、初めての親子が参加されていましたがすぐに打ち解けて笑顔で交流していました。子育てに息詰まっている方やママ友が欲しい方は第4火曜日にぜひお気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。

参加者の声



- ・ボランティアの皆さんが親身になって子どもたちを見てくれるので安心して遊ばせることができます
- ・子どもに「今日みなみっこの日だよ」と声をかけると喜んで出かけます。私も親同士話ができるので楽しみです。

👨👩👧👦 親子サロン紹介 📺

親子サロンとは、幼稚園や保育所へ入る前の子育て中の親子と、先輩ママなどの市民の皆さんが、世代を超えて子育てのアドバイスをかわしあったり、交流できる拠点です。現在、市内には7か所の親子サロンがボランティアにより運営されています。



輝きインタビュー

〜将来を担う福祉のたまご〜

蘇原第一小学校5年生の永谷優和さん(写真)。
今年の夏休みは「障がい者に優しい町 各務原市を願って」をテーマに福祉について研究しました。

◎なぜ福祉について研究しようと思ったの？

福祉に興味を持ったのは、祖母がデイサービスに行くときに足腰が弱くなって車いすのまま車に乗って行ってすごいなあと思ったからです。総合学習の時間で福祉を勉強したのも印象に残りました。

◎どのような研究をしたの？

車いすでバスや電車に乗ったり、地域のバリアフリーチェックをしました。一番心に残っているのは、知的障がいの方が働いている施設にボランティアに行ったことです。驚くこともあったけど、一緒に作業することが楽しかったです。

◎研究してみてどんなことを思った？

バリアフリーチェックのときに、障がい者専用の駐車スペースに健常者の車が停まっていたことが気になりました。それと雨が降ったときに車いすだと車の乗り降りに時間がかかるから屋根を作ると安心できると思いました。

◎福祉を勉強したことでこれからやりたいことは？

将来の仕事を考えたときに、福祉の仕事もいいなあと思うようになりました。特に障がいの方が働いている施設に興味を持ちました。障がいをもった方も住みやすい町になればと思います。



ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり

各務原市福祉フェスティバル 2014

～きっかけ みつかる 福祉フェスティバル～

たくさんのご来場ありがとうございました！
きっかけは見つかりましたか？

次はどんな一手かなあ

盲導犬を体験



今年も大好評！
大槌町物産展



炊き出し訓練
うまくできるか
緊張…



発達障がいを理解する研修会



最近、「発達障がい」を耳にすることが増えてきましたが、大人の発達障がいについては社会的認知が遅れており、学校や職場などあらゆる場面で困難に直面している方が多いのが現状です。この研修では、映画や障がいを抱えながら生活されている方からの講演などを通じて「発達障がい」を正しく理解し、学校や職場、地域社会において、上手なつきあい方や対応を考えます。

①自閉症がわかってくる映画 上映会 (各150名)

日時 ① 11月 9日 (日) 13:30 ~ 15:30

② 11月 16日 (日) 13:30 ~ 15:30

会場 中央図書館 4階多目的ホール (那加門前町市民公園内)

「ぼくはうみがみたくなりました」

自閉症の青年が教えてくれた大切なこと…。心がすこし優しくなれる感動のストーリー。



②研修会 発達障がいへの理解と対応 (80名)

日時 12月 14日 (日) 10:00 ~ 12:00

会場 総合福祉会館 3階 集会室 (那加桜町2丁目 163番地)

講師 平野 華織 准教授 (中部学院大学)

発達障がいの特性や生きづらさを学びます。また、環境を整えれば能力を生かして社会や職場で活躍できることがあるなど、大切なのは周囲の理解であることを学びます。

③講演会「発達障がいがある人の日常生活のお話」(450名)

日時 平成 27年 1月 31日 (土) 13:30 ~ 15:30

会場 産業文化センター 1階 あすかホール (那加桜町2丁目 186番地)

講師 笹森 理絵さん

32歳の時に発達障がいの診断を受け、息子3人もそれぞれに発達障がいを持つ。当事者・保護者・支援者の視点から、発達障がいの特性や理解や対応をわかりやすく解説します。



申込

各回入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。また、定員になり次第締切ります。

電話・FAX・E-mailにて、「参加希望する回」「お名前」「ご住所」「連絡先」をお伝えください。

カリキュラム

(各務原市 那加福祉センター 学習室)

定員 50名

開催日	時間	講座項目
11/26 (水)	9:30 ~ 14:30	サポーターの心得 等
11/28 (金)	9:30 ~ 15:20	小児看護の基礎知識 等
12/1 (月)	9:30 ~ 16:10	発達障がいへの理解 等
12/3 (水)	9:30 ~ 15:30	普通救命救急講習III 等
12/5 (金)	9:30 ~ 15:00	子どもの世話 等

申込み用紙は、各務原市役所・子ども館・社会福祉協議会事務局に置いてあります。

申込先・お問い合わせ (申込締切 11/19(水)まで)

NPO 法人 ぎふ NPO センター
〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12
岐阜シンクタンク庁舎 3F
TEL 058-275-9739 FAX 058-372-8502
E-mail npo@gifu-npocenter.org

ファミリー・サポーター・センター事業
サポーター研修会
参加者募集

ファミリー・サポーター・センター事業は、子育てのサポートを受けたい人(利用会員)と行いたい人(サポーター会員)が会員となり、地域で子育てを支えあう事業です。

子育て経験のある方、子育て支援に興味のある方、あなたのスキルや経験を活かして地域で活躍してみませんか?

研修会終了後、サポーター会員を募集いたします。

エーザイ株式会社 川島工園の社会貢献活動



あしたの会共働学校で8月12日に夏祭りが開催されました。主催はエーザイ株式会社川島工園の皆さん。お菓子の販売や体験研修を通して利用者の方々との交流が深まり、一緒に楽しむイベントを開催したいとの思いから企画したとのこと。

当日は天候が心配され、軒下での催しになりましたが、ボールすくいや水風船釣りをする表情はとても輝いていました。参加者は「こんなにたくさんボールがとれた。すごく楽しい。」と誇らしげに成果を見せてくれました。次第に天気も良くなり、夏らしい雰囲気の中でかき氷をほおぼる姿も印象的でした。

エーザイ川島工園の方は「利用者さんは、私たちが当たり前に行っているようなイベントでも、企画することがなかなか難しいこともあるんです」と施設長さんから伺ったことも今回企画するきっかけになりました。他にも新年会、春や秋には川島工園のグラウンドでスポーツ大会を開催することもあります。今後はあしたの会さんとのご縁を大切にしつつ、さらに交流の輪を広げゆくような活動をしてまいりたいと思います。」とおっしゃいました。

このように福祉に対する関心や地域とのつながりが企業の皆さんに広がり、障がい者の方たちと多くの企業でいろいろな交流の輪が広がっていくといいですね。



あしたの会共働学校は

障がいを持っている方が自立した日常生活又は社会生活を送れるよう、いろいろな活動を通じてサービス提供を行う事業所です。

食欲の秋到来！ お達者で クッキングを 開催します

おいしい食材が盛り沢山のこの季節。仲間と会話をしながらゆっくり食べる食事は、心もからだも元気にしてくれます。料理の楽しさ、食べる喜びを味わいましょう！



- 日時 11月21日(金) 10:00～
- 会場 総合福祉会館 3階 料理室
- 対象 一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方
- 参加費 材料費 500円
- 持ち物 三角巾、エプロン **定員** 25名
- 協力 市食生活改善協議会
- 申込 総務地域福祉課 TEL 058-383-7610

わかるとスッキリ! あたまの体操してみませんか?

文字を並び替えて1つの言葉にしてください。

問題① ツ マ モ サ イ

問題② ウ カ ド イ ン ウ

問題③ ア ボ カ ン ト

ヒント 秋にまつわるものです

はがきに問題①～③の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号に社協かかみがはらを読んだ感想を添えてご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差しあげます。

宛先：〒504-0912 各務原市那加桜町 2-163
各務原市社会福祉協議会まで
締切：平成26年11月17日(月) 必着



7月号では126名のご応募がありました。
抽選で10名様に粗品をプレゼントさせていただきました。

7月号の答え
①夏休み ②冷やし中華 ③海水浴

第2回 市民福祉講座 くらしを守る 権利擁護セミナー



湯原 悦子さん

社会福祉協議会では認知症になっても心身に障がいをもつても、安心した生活が続けられるよう支援しています。

自宅での介護では介護疲れから虐待を引き起こしてしまうなど本人の権利が守られないことがあります。今回のセミナーでは介護する側される側がともに疲れることなく暮らし続けられる方法を考えます。

また、障がい者施設の活動発表も行います。

- 日時** 10月21日(火) 13時00分～15時30分
- 内容** 障がい者施設活動発表
共同作業所星の村
エンジェルハウス
クラブハウスゆうせん
- 講演** 『在宅介護の現場から見えるもの
～介護者家族を孤立させないために～』
- 講師** 湯原悦子さん
(日本福祉大学准教授・権利擁護研究センター長)
- 会場** 各務原市産業文化センター
あすかホール(那加桜町2丁目186番地)
- その他** 入場無料。事前申込み不要です。

第48回 各務原市社会福祉大会開催

日時 11月19日(水) 13:00～15:30

場所 各務原市民会館大ホール

内容 ①福祉功労者への表彰
②記念講演

講師：花田 景子さん(元アナウンサー)
演題：「母として、妻として、女将として」



入場料 入場は無料ですが、整理券が必要です。

整理券は10月21日(火)から次の窓口で配布。

各市民サービスセンター・市民会館・市役所福祉総務課・社会福祉協議会事務局

生活相談センター さぽーと

日頃の心配ごとをお聴きします。どんなことでもお気軽にご相談ください。

収入が不安定で生活に困っている、成年後見制度について知りたいなど。

定例相談(総合福祉会館 2F)

社協事務局

電話 058-383-7610
フリーダイヤル 0120-198-365

実施日 平日 8:30～17:30

出張相談 予約不要 13:00～15:00

八木山連合支部 ささえあいの家	毎月第2水曜日
緑苑連合支部 ふらっと	毎月第3水曜日

善意のご寄付をいただき 誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成26年6月1日～平成26年8月31日

【金銭・物品】

鵜沼地区歌謡教室チャリティ合同発表会実行委員会	¥74,448
匿名	¥2,986
株式会社大竹建設工業所 グリーンフェア参加者一同	¥51,847
宇野日代治	¥3,553
波多野耕三	¥9,000
公益財団法人 田口福寿会	¥500,000
ジェット株式会社	¥200,000
堀部益子	古切手
山崎早苗	古切手

今年度からデイサービスに勤務し6ヶ月が経ちました。長いような短いような時間でした。多くの業界・業種で勤務されている新社会人の方でも、同じような感覚を持つてみる方が多いのではないかと思います。私の業務内容でいえばご利用者の顔と名前を覚えることと並んで、事務仕事も覚えるという所から始まりました。今になって思えば、四月当初は目の前のことで精一杯で上司、先輩方には迷惑をかけてきました。サポートしてくださり、何とかこまですべてやることができたという思いがあります。まだまだ、勉強することは多くありますが、感謝の気持ちと、初心を忘れず頑張りたいと思います。

横山師之



この広報紙には、皆さんの会費と赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ウェブサイト

各務原市社協

検索

No.158 社協 かかみがはら 発行/各務原市社会福祉協議会 発行日/H26.10.15

〒504-0912 各務原市那加桜町2-163 総合福祉会館2階

TEL.058-383-7610 FAX.058-382-3233 E-mail shakyo@chive.ocn.ne.jp